

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2018年2月10日～2018年2月16日の推移】

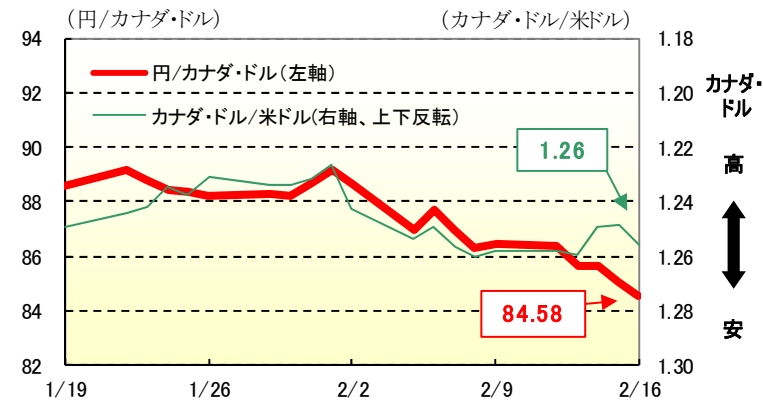
### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は下落し、カナダ5年国債利回りは上昇しました。

先週は、米国でCPI(消費者物価指数)が発表され、前月比が+0.5%(前年比+2.1%)と、市場の予想を上回る伸びとなりました。この結果を受け、米国の金利は上昇し、その動きに連れてカナダの金利も上昇圧力が高まりました。

カナダ・ドルについては、米ドル安の進行などにより円高圧力が高まり、カナダ・ドルは対円で下落しました。

### 【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年1月19日～2018年2月16日)



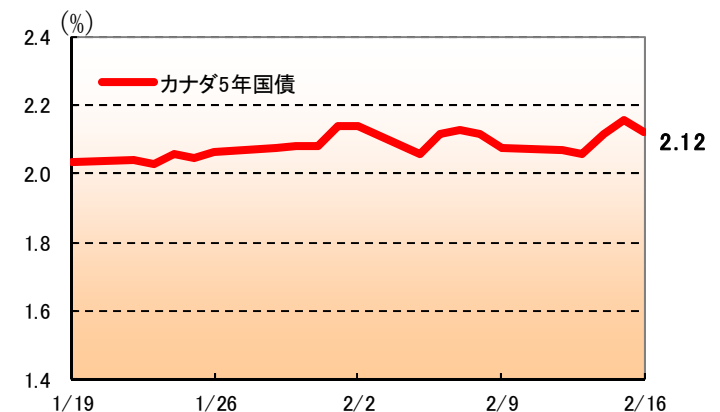
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

今週、カナダでは小売売上高やCPI(消費者物価指数)が発表されます。カナダ経済の堅調さが確認される結果となれば、カナダの金利やカナダ・ドル円の上昇圧力になると考えられます。

また、足元では株価などが値を戻しつつあり、このまま市場のリスク回避的な姿勢がさらに後退すれば金利やカナダ・ドル円の上昇圧力になると考えられます。

### 【カナダ 金利推移】 (2018年1月19日～2018年2月16日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>